

【ヒアリング対象者】（2018年12月～2019年7月）

・協議会メンバー ・商店街関係者 ・飲食店団体関係者 等

全体

- ・政令市としての拠点性をしっかりと強化する必要がある。
- ・それぞれのエリアのイメージが凝り固まっている。
- ・エリアごとに性格づけが必要。より具体的なデザイン(どこで何をするか)が必要。
- ・湊町としての誇りや、その印象を残すことが重要。
- ・次の世代に何を残せるかといった視点で考えることが重要。
- ・ベンチマークとなる街を共有するとよりイメージ共有が図りやすい。(福岡市、静岡市など)
- ・行政として、「まち」をどうしていきたいか旗振りが必要。例えば、歩行者を中心の街など。
- ・人口減少の中、市内だけではなく県外・海外からの集客を視野に入れる必要がある。
- ・エリア間をつなげるためには、関係者の“人と人とのつながり”(関係性構築)が重要。
- ・新潟が“おもてなしのまち”として認識してもらえるような取り組みとイメージ戦略が必要。

新潟駅

- ・駅から出てきた時、新潟らしさを感じるモノがあると良い。
- ・駅からまちへの連続性があった方がよい。(ヘデストリアンデッキ等)
- ・万代広場には、整備後の使い方(イベント等)を想定して、電源や給水設備等を備えてほしい。
- ・イベント開催等を考えると、万代広場に屋根があったほうがよい。
- ・新潟駅が今後どのように変わるのかをもっと情報提供してもらいたい。
- ・新潟駅高架化後の跡地の利活用が気になる。
- ・駅にどういう店舗が入るか気になる。

公共空間（道路等）

- ・朱鷺メッセのイベント時、花園ルートではかなりの歩行者数がある。
- ・イベントをやりたいが、やる場所が無い。
- ・流作場～弁天公園の通り(旧新潟駅前通)は賑わいスペースとして活用したらどうか。
- ・弁天ルート of ガルベストン通りのクランク解消が必要。(安全な歩行環境、見通し確保など)
- ・滞在時間を増やすため、居心地の良い憩える空間が必要。(広場、ベンチ、緑等)
- ・ストリートの統一感創出や駅からまちへの誘導につなげるため、通り名やサイン等があるとよい。
- ・新潟の成り立ちがわかるような案内版があるとよい。(流作場など)
- ・歩道橋は、日本独自のもので、海外から見ると珍しい。
- ・歩道橋、横断歩道、自転車通行の位置に工夫が必要。

交通

- ・新潟鳥屋野線が部分供用してから、交通の流れが変わり始めている。
- ・万代島地区(朱鷺メッセなど)への誘客に、交通環境の充実が必要。

景観・土地利用

- ・歴史性をテーマに統一感を持たせると良い。(歴史性を活かしたサイン等)
- ・都心の景観に統一感を持たせるなど、都市全体をマネジメントする組織が必要。
- ・万代口のエリアでもイルミネーションをしたらどうか。
- ・アーケードにはメリット・デメリットがある。
メリット: 天気が悪い日でも気にせず通行可(1年の半分は曇り)
デメリット: 暗い(閉塞感)、維持管理費
- ・周辺には駐車場が多いが、稼働率もかなり高い。(特に週末は満車状態)
- ・低層階に公的空間の創出を進めるためには、ビル更新の際に、容積率の緩和等のインセンティブが必要。
- ・花園地区の商店街は住民が少なくなっている。
- ・新潟駅周辺のお店は、他の都市の駅前とあまり変わらず、新潟らしさがあまり感じられない。
- ・駅・万代地区は、エリアごとに建物用途に偏りがある。
- ・昼は万代、夜は駅前(弁天・花園)のイメージ。
- ・業種が異なる店舗がミックスされたり、事務所や居住が増えたりすれば、昼夜問わず賑わいが生まれるのではないかな。

観光交流・賑わい創出

- ・「新潟らしさ」を強く打ち出した方がよい。
- ・都会のイメージも残さないと、市外からの交流人口も減少する。
- ・良い観光資源があるが、散在している。
- ・「食」は一つの重要な観光資源だが、「食」だけだと不足であり、新潟に来てもらう取っ掛かりが必要。
- ・新潟駅周辺で散策しながら、県内の名産品を手に入るようなエリアがあると面白い。
- ・新潟祭などの新潟独自のイベントを新潟駅前でもっと感じられるようにすべき。
- ・東北の祭や、国内外のクリスマスマーケットなど、市民が誇りを持てるようなコンテンツ(新潟祭の強化など)が必要。
- ・商店街の店舗は外の人が多いため、その地区への土着がなく、一緒に協力して盛り上げていく体制を作りにくい。
- ・他の団体と協力してイベントをやりたいがキッカケがない。
- ・欧米人をはじめ、夜に遊べる場所がほしいという需要がある。

その他

- ・駅前に、野菜などの食品や生活必需品を購入する場所が少なく、困っている。